

お西さん

2002
1-2

謹賀新年



本年もよろしく
お願い申しあげます。

本願寺函館別院 職員一同



「なごみ」の寺 **本願寺函館別院**
函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

年頭にあたつての「ご挨拶」

「人間相互の信頼確立を」



兩館別院

輪番 吉川

孝臣

明けましておめでとうございます。

皆さまのお力添えを頂きまして、つつがなく新年を迎えることができましたこと心から御礼を申し上げます。

昨年のお正月は二十一世紀の幕開け、今世紀こそ世界が平和であるようにと希望に胸を膨らませての門出をいたしました。しかしその夢は無惨にも打ち砕かれ、世相は益々混沌として暗雲の晴れる兆しさえ見えません。

日本漢字検定協会が、昨年一般公募された「今年の漢字」は過去最多の約三万六千通の応募があったようですが、一位は「戦」、二位が「狂」、続いて「乱」「恐」「命」などであったと報じられています。

何といつても昨年の大事件は、米国のニューヨーク世界貿易センタービルにハイジャックされた旅客機が激突、爆発崩壊したことでしよう。茶の間でみるテレビの映像はまるでドラマを見ているようで、何度みても現実に起きたこととは思

えませんが、現実には数千人の人々が犠牲となりその行方さえわからない人が多くおられます。またこの同時テロ多発事件に端を

発したアフガニスタンでの米軍の空爆、戦禍で犠牲となった人、難民となった人々が数十万人とも云われていますが、とどまるどころのないこのような悲惨な殺戮に人間の愚かさを思わずにはおれません。まさに一位になった「戦」は世相を反映した漢字ということができないのではないのでしょうか。

ただ気に掛かるのは「命」という漢字が五位になつてのことです。当然「戦」でも多くの人々の命が奪われていますが、身近なところ我が国でも毎日のように殺傷事件が起きています。そして新聞の報道によると、一年間に自殺する人が三万人を越えたとのこと。自らの命を絶たれるにはそれなりの理由があると思いますが、誠に残念であります。今日科学技術の進歩は目覚ましいものがあり、確かに私たちは豊かさを享受することができました。しかし一方では命の尊厳が見失われ、簡単に人の命が奪われ失われているように思えてなりません。

釈尊が二千五百余年の昔インドのヒマラヤのふもとルンビニー園でお生まれになつて、七歩あ



ゆまれて右手で天を指し、左手で地を指して「天上天下唯我独尊」といわれたと伝えられています。この一つの人間の命は天にも地にもただ一つであつて、かけがえのない尊いものであることを知らされ、そこに互いの命の尊厳を認め合うことができる教えられています。人と人の相互の信頼を確立することが、国家、民族の違いを越えて共存共生の世界を実現する起点であると思えます。本年もよろしくお願い申し上げます。 合掌

「家族揃つて、お正信偈を」



兩館親鸞大学 講師

宣法寺 渡邊

脊龍

御同朋、御同行の皆様には「婦命無量寿如来南無不可思議光」のお正信偈のおつとめと共に、お念仏のなか新年をお迎えのことと、何よりもおめでとうございます。

平成十一年、本願寺函館別院前御輪番の鷺山諦住様より「親鸞大学」(テキストは正信念仏偈とする)を公開講座として開校したい旨を伺い、ついてはその講師をとの依頼お申し出を頂き、厚かましくもお引き受けさせて頂く事となり、早くも四年目を迎える事が出来ました。これは別院さんのご指導は元より、毎回熱心に受講して下さる皆様方のお陰と感謝申し上げます。

よくご年配の方より「私は幼い時から「きみようむりようじゅによらい」なもふかしきこう」を

あげなければ朝ご飯が食べられない、学校へも行けない、家族揃ってお内佛の前でお正信偈をおつとめして育てられました。今になると有難いことだと思っております。聞かされます。

このように昔から、門徒のあるところ必ず「お正信偈」のおつとめが聞こえ、「お正信偈」の称えられて居るところに浄土真宗が伝わって来たことでもあります。

ところで「正信偈」はお釈迦様のお説教を記録した「経」ではなく「釈」なのです。

親鸞聖人が心の底からお念仏を慶ばれた信心の歌(偈)なのであります。「正信偈」の本籍を訪ねると、親鸞聖人が浄土真宗の根本聖典として書き表された「顕浄土真実教行証文類」の行巻に納められている七言百二十句の偈文がそれであります。それを今日のように真宗門徒の日常のおつとめとして下さったのは、本願寺八代宗主の蓮如上人で、一人でも多くの門徒が朝夕のおつとめが出来るようにとめて下さったのが、今日に伝わっているのではありません。

赤尾の道宗さんは、

「二日のたしなみは朝のお勤めから」と、毎日欠かさずお礼申していたそうですが、私などはこう寒くなる



も有ります。(お恥ずかしいことで...)

妙好人、因幡の源左さんは人様から、あなたのような信者になると朝夕の「おつとめ」は慶びいさんでなさるでしょう、と聞かれると、「いやいや、つろうてつろうて仕方がない。しかしそのつらいところをつとめるのじゃからおつとめと言うのじや。」と答えたと申します。厳しくもなんと有難い言葉であります。

さて今年も毎月十六日、親鸞聖人御命日法要の後、親鸞大学の「正信偈」講座で共々に学ばせて頂きましょう。多数の方々が受講されますようお願い申し上げます。

教化団体より



壮年会

会長 梶原 佑倅

年かはる夜の静けさよ

い寝むとして心をどりを

おさへかねつも——釋道空

壮年会の年末のお手伝いは、除夜会の甘酒のご奉仕。参拝者ごもその思いを一切打ち消すように除夜の鐘が鳴る。大つごもりから元旦に移るその瞬間の「心をどり」(ときめき)を道空はかく歌った。紅白歌合戦はどうも好きになれない。こ



の瞬間はやはりお寺が一番だ。不思議な安らぎを覚える。壮年会仲間と寒さに震えながら、新年への時の刻みを数える。雪が舞う親鸞様の御像の蓑笠に。七百四十年変らぬ天の白き妙なる業を偲ぶ。頂戴した命の御恩に心ときめく。

昨年、一会員がお浄土に還帰された。奥様からお葉書が届く。「私の誕生日には必ず薔薇の花束を贈り続けてくれた夫」と。この方の優しさを育んでくれたのはこのお寺だった。棘しか供せぬ己を謝すばかりだが掌を合わせ都度お念佛申させていただくことを学ばせていただいた。

繁忙苦悩の日々なればこそ、急ぎ安楽の寺院の門を敲き壮年会への入会をと願う次第。

元日の輝く陽光に舞う雪はきつと薔薇の花のように貴方に降り注ぐことでしょう。



本願寺函館別院

職員紹介

函館での初めての新年を迎えました。昨年七月に鹿児島別院から転任して来ましたが、北海道は三度目で懐かしい思い出も多く、また特に函館は文化の香りと風光明媚の地、故郷広島に次いで新たな故郷となりそうです。

皆様のご支援のもと別院の発展に尽くしたいと思います。

輪番 吉川 孝臣



函館（別院）にお世話になり早いもので十四年になりました。この間、各教化団体、御門徒様、又諸先輩方々に、お育ていただき、何とかここまで来ることが出来ました。私事ですが子どもたちも函館生まれの函館育ちで第二の故郷のような感じがします。



副輪番 神田 憲量

新たな年、今一度足元を見つめて歩いていきたいものです。

函館別院にお世話になり一年と二ヶ月。二度目の冬です。兵庫県姫路市に生まれ育ち、京都で二十数年。夢にも考えなかった北海道での生活。来たからには壮年会の皆様と風景、温泉、北の味を楽しみたいと思えますが……いや、別院のご奉仕優先です、ネ！



副輪番 脇坂 正淳

北海道今金町の生まれです。別院にお勤めさせていただき、七年目になります。お寺では、法務・法要等を担当させていただいております。本年は、ベテランのご門徒さんにお育ていただきながら、若い世代の方々がお寺の行事に気軽に参加できるように勤めていきたいと思えます。



参勤 吉村 教史

今、台町出張所におります北海道栗山町出身の二十九歳です。昨年からボースカウトを担当させていただいてます。担当とは名ばかりで、子供たちいろいろなと教えられることの多い毎日です。ほかには函館市仏教会の子供会や宗派を越えたお説教会（南無の会）を担当させてもらっています。興味をもたれた方はぜひご一報を。



参勤 高倉 健司

私は大阪生まれの愛知育ち、現在実家は愛知で寺は鳥根と出身地が色々ある感じです。しかし、函館に奉職させていただきはや七年目。今では函館が地元といえるくらいです。今思えばこの別院で多くの仏縁に恵まれお育ていただきました。今年も皆様と共にいろいろと学びながら歩んでいきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。また、担当させて頂いております婦人会、青年会の皆様にもよろしくお願ひ申し上げます。



参勤 石黒 堅司

時の過ぎる早さとツルツルの道に、身も心も滑り転びそうになりながら、いろんな方々や出来事に教えてもらって何とか止まる毎日です（たまたま転んでます）。そこで皆様、「仏教に学ぶ会」にお越し下さい！モットーは「本音を遠慮せず」、このすばらしき場に、どうぞぜひ！



承仕 平田 淳真

仏教は、心の滑り止めです。

別院に勤めて二年と九ヶ月、小樽の出身です。ボーイスカウトを担当しており、カブスカウト（小学生）を担当しています。隊長として子供たちと元気に活動しております。お子さん、お孫さんをスカウト活動に参加させて見ませんか？



承仕 上野 正範

スカウトは随時募集しております。

はるばる滋賀より函館に着任させていただきました。早一年八ヶ月になりました。この間たくさんの方々のめぐりあいがあり、また様々な経験をさせていただきました。一つ一つの出来事が私にとって大切なものとなりました。また新たな出会い、経験を通して、少しずつ成長していきたいと思えます。



承仕 八木 晃紹

石川県金沢市出身です。熊本県の人吉別院から転勤してきました。もう少して一年になろうとしております。身体の大きさだけは目立つものの、まだまだ未熟な所ばかりです。皆様のご指導をもってより一層おそだていただきたいとおもっております。



承仕 西村 晃寿

別院に勤めて今年で十七年目になります。今までの経験を生かし、精進しようと思っております。これからよろしく願っています。



書記 山崎 三和

今年も新しい年を迎えることが出来ました。これも皆様のお陰です。有難う御座います。事務職はご門徒の皆様と接する機会が少ないので、一期一会を大切にしたいと思えます。



書記 小池 晴美

幼稚園生活無事終了と同時に御親修というご縁をいただき、四月から別院通いをしている私です。「ご門徒さん中心」の生活を毎日見せていただき、別院の仕事の大切さ、職員皆様のご苦勞に、ただ頭のさがる思いです。皆様の一助にと思いがんばっております。



昆野 智子

私は十代の頃より体力だけでは、自信を持っていましたから、今の仕事が一番には最良の仕事と思っています。これからもケガや健康に注意してがんばりますので宜しく願っています。



用務員 岡本 竹俊

西別院にお世話になり丸一年が過ぎようとしております。たくさんの方々のおかげでいただきどうにか一年という時が流れてくれたのだと思います。まだまだお役が立たないことばかりですが、どうぞよろしく願います。



贈い 佐野 洋子

年忌早見表 (平成14年)	1周忌
	平成13年(2001年)
	3回忌
	平成12年(2000年)
	7回忌
	平成8年(1996年)
	13回忌
	平成2年(1990年)
	17回忌
	昭和61年(1986年)
25回忌	
昭和53年(1978年)	
33回忌	
昭和45年(1970年)	
50回忌	
昭和28年(1953年)	

土地・宗派によって異なる事がございます。お寺さんにお尋ね下さい。

青年会公開講座報告

去る10月27日、西別院仏教青年会主催の公開講座が行われました。おとめの後、吉川御輪番の法話を頂き、合掌・礼拝・焼香等の作法の講習、またグループディスカッションも行われました。初回で慣れない部分もありましたが、参加者の方々と実りある時間を過ごすことができました。

また、こういう場を持ちたいと思っておりますので、たくさんの方の御参加をお待ちしております。

青年会会長

小幡 州生



焼香の講習



グループディスカッション

一泊二日でゆつくりしながら、温泉・食事でカラダ潤い、クイズ・演劇・お話にココロ潤う「ほのほのお念仏の集い」。今年で六回目を数えます。ちなみに、個人的には去年に続いて二回目です。

初日、「クイズ・本当に門徒!?」四択問題で、仏具のことや仏様のことが出題され、盛り上がりしましたね。夜は宴会、じゃなかった、懇親会。宴もたけなわになるにつれ、飲み食いだけにとどまらず、参加者の方々が次々とステージに上って歌や踊りが披露されていく。「なんでこんなに芸達者が揃ってるの?」そして二名の演歌歌手によるステージ。「いや、お見事!」の一言。そして最後は豪華景品が盛り沢山(…?)なビンゴゲーム。当たって取りに来られる方々の笑顔が忘れられないなあ。

翌日、お寺さん製作・出演による、演劇「明日への扉」。ほくも出演させてもらいました。ガンとなった妻に告知をすべきかと悩む夫の心の揺れと決意への道の

ほのほのお念仏の集い



多数のご参加、ありがとうございます。

りを描くこの劇、関係者一同で重ねた練習の成果を見て下さい。さあ、ハンカチのご用意を!「……って、なんでこんなに笑いがおこるの?」。出てくる出てくる出演者からのアドリブの数々、出てくる出てくる観客の皆様からの絶妙な反応。「おもしろいし、まあいいかあ!」。でも、ちゃんと客席に涙はあったそうです。舞台と客席が一体で生み出される笑いと涙。ほんと出させてもらってよかったなあ。演劇の後にはちゃんとお話もありました。大切なことを学べるのも、「ほのほの」のいいところです。

来年もきっとあります。ほくも楽しみ。みなさま、どしどしご参加を!お問い合わせはお気軽に。(平田)



「クイズ・本当に門徒!?」



演劇「明日への扉」開幕!



「しよ、祥子一!!」迫真の名演技

12月5日(木)・6日(金)
湯川 花びしホテル

お寺へ行くこう

宗祖親鸞聖人御正忌

- ◆一月十四日(月)午後一時半より
 - ◆一月十五日(火)午後一時半より
 - ◆一月十六日(水)午後一時より
- ～ご家族そろってお参り下さい。

十六日会 新年会

- ◆日時・一月十六日(水)
午後二時より会食

◆会場・西別院文化会館

◆会費・千円

親鸞大学

- ◆一月十六日(水)午後一時半より
- ◆二月十六日(土)午後二時より

ようこそ常例布教へ

- 一月十三日(土)北海道教区上川南組
- 一月十五日(月)本誓寺 青木 宗成氏
- 一月十三日(水)兵庫教区穴栗組
- 一月十五日(金)安楽寺 黒田 眞隆氏

お悔やみ申し上げます

永代経懇志ありがとうございました

テレフォン法話順番表

- 12月30日(日)～1月5日(土)…石 黒
- 1月6日(日)～1月12日(土)…平 田
- 1月13日(日)～1月19日(土)…上 野
- 1月20日(日)～1月26日(土)…布教使
- 1月27日(日)～2月2日(土)…八 木
- 2月3日(日)～2月9日(土)…西 村
- 2月10日(日)～2月16日(土)…輪 番
- 2月17日(日)～2月23日(土)…布教使
- 2月24日(日)～3月2日(土)…神 田

24時間お好きなときに
いつでもどうぞ

☎0138 27局 2424番

中央仏教学院講座の

ご案内

日時 **2月24(日)**
午後1時～午後2時30分

会場 **西別院文化会館**

中央仏教学院講師
通信教育部部長
講師 **日野 和憲**先生

興味のある方
関心のある方
どなたでも
ご参加下さい

この御縁に、日頃抱かれています
疑問や不審などについて
御講師に直接伺っていただければと思います。

西本願寺の 通信教育生

募集!

人生の地図を
ポケットに!!

（気軽な感覚で好きな時間に
心の勉強 そんな感じの通信教育
今、始まる新たな一歩です）

●入門課程 ●学習課程 ●専修課程
目標を決めて選べる各コースがあります。
※詳しくは別院まで

中央仏教学院通信教育

編集後記

▼新しい年を迎えさせて頂きました。
一年が平和であることを願いつつ、今ここに生かされるこの
尊い生命を喜ばせて頂くと共に、日々感謝の暮らしを
させて頂きたいと思えます。

(八木)



学校法人



龍谷幼稚園便り

子どものつぶやき



先生(お部屋の鏡に向かって)
「鏡よ鏡、鏡さん、
世界で一番美しいのは誰？」

Kくん「うちのお母さん」

先生(廊下を歩くS先生がいたので)
「違うでしょ、S先生でしょう！」

Kくん「…S先生!!」



Rくん「先生～、服が…」
先生「どうしたのRくん」
Rくん「エラ、エラ直して!エラ!!」
先生「……襟？」



先生「では、なぜなぞをします。白と黒で赤いサイレンの車は？」
Kくん「消防車！」
先生「残念。では、はしごが付いた消防車は？」
Kくん「……ん!? なっとう!!」
先生「…??？」



平成
14年度

園児募集

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を
伝える宗教教育、それが **龍谷幼稚園** です。



願書受付中



お問い合わせは **龍谷幼稚園** ☎23-0274